



2023年7月7日

各 位

上場会社名 シグマ光機株式会社
代表者 代表取締役社長 近藤 洋介
(コード番号 7713)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 石井 康之
(TEL 03-5638-8221)

(開示事項の経過報告) 当社技術センター 既存工場棟の増築・リノベーション及び新工場棟の完成に関するお知らせ

当社は、当社技術センター（石川県白山市）に、新しい生産品目の開発試作体制並びに生産体制の構築とともに、本日付で適時開示しております「合弁会社の設立手続き完了に関するお知らせ」でご案内した合弁会社であるLMS株式会社による新製品開発体制並びに生産体制の構築を目的として新工場棟を建設しておりましたが、このたび完成いたしましたのでご報告いたします。なお、新工場棟の稼働開始は8月を予定しております。

記

1. 新工場棟建設の目的

当社技術センターは、ソフトウェア開発や機械設計・電気回路設計などを担当する技術部門と、高分解能自動ステージや光学モジュールや高精度大型調芯装置の製造を行う製造部門が同居する、当社の主要な生産拠点となっております。

今回の新工場棟の建設は、1995年10月の竣工から間もなく30周年を迎えるにあたり、既存工場棟には今回大規模なリノベーション工事を行い、従業員の労働環境の改善・整備を行うとともに、今後さらなる大きな成長が見込まれる最先端の光技術分野でニーズが高まっている高品質・高付加価値な光学部品や光学モジュール・光学装置の生産能力の増強、並びに今後ますます需要の拡大が見込まれるメディカル・ヘルスケア関連製品を中心とした新製品の開発・製造を大きく推進することを目的としています。

そのため、この度完成いたしました当社技術センターの新工場棟は、異なる役割を担う二つの棟で構成されております。一棟は、高分解能自動ステージや調芯装置、装置組込用光学部品や光学モジュール製品の量産化やOEM製品のラインナップ拡充を担う「開発試作棟」となっており、もう一棟は、メディカル・ヘルスケア関連製品を中心とした新たな成長分野向けの新製品の開発・製造の推進を担う「企画開発棟」となります。

既存棟では、老朽化・狭小化していた自動応用製品の組立・検査工程の作業エリアを拡充し、設備の再配置と動線の見直しを行うことで業務の効率化を図ります。

新工場棟については、開発試作棟では高精度な検査装置などを導入し、高分解能自動ステージや調芯装置、装置組込用光学部品や光学モジュール製品の生産性の向上を図ります。また、企画開発棟には当社合弁会社であるLMS株式会社を中心となって行うメディカル・ヘルスケア関連分野のお客さまに向けた新製品開発・製造体制を集約することで、合弁会社の出資会社3社の強みとナレッジを生かした新分野に向けた製品開発力の強化を図ります。

今回の新工場棟の完成により、市場とお客さまの需要に迅速に対応できる体制を構築することで、中長期における持続的成長を目指してまいります。

2. 新工場棟の概要

- (1) 技術センター 新工場棟建設工事（開発試作棟）、増築・リノベーション工事
- ① 名称 技術センター 開発試作棟新築工事及び既存棟リノベーション
 - ② 所在地 石川県白山市八束穂1-1（石川ソフトリサーチパーク内）
 - ③ 構造・規模 鉄骨造 地上2階
 - ④ 延床面積 864.96㎡（増築部分のみ）
 - ⑤ 総投資額 約2.4億円（建物のみ）
 - ⑥ 工事期間 着工：2022年12月 竣工：2023年6月
 - ⑦ 稼働開始 2023年8月（予定）
 - ⑧ 用途 高分解能自動ステージや調芯装置、装置組込用光学部品や光モジュール製品の量産化やOEM製品のラインナップ拡充
- (2) 技術センター 新工場棟建設工事（企画開発棟）
- ① 名称 技術センター 企画開発棟新築工事
 - ② 所在地 石川県白山市八束穂1-1（石川ソフトリサーチパーク内）
 - ③ 構造・規模 鉄骨造 地上2階
 - ④ 延床面積 977.12㎡
 - ⑤ 総投資額 約2.6億円（建物のみ）
 - ⑥ 工事期間 着工：2022年12月 竣工：2023年6月
 - ⑦ 稼働開始 2023年8月（予定）
 - ⑧ 用途 ますます需要が拡大するメディカル・ヘルスケア関連製品を中心とした新たな成長分野向けの新製品の開発・製造の推進

3. 今後の業績に与える影響

新工場棟の竣工が、2024年5月期の当社の連結及び単体業績に与える影響については、現在精査中であり、適時開示が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。



<技術センター 新工場棟2棟 外観>
左：企画開発棟 / 右：開発試作棟



<技術センター 全景>